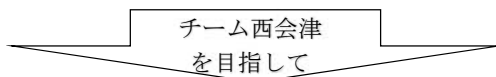


西会津町 地域学校協働活動事業

学校地域連携担当教員 江川 新治

- 1 西会津町 人口6,455人 世帯数2,685 小学生215名 中学生97名
こども園1園 小学校1校 中学校1校 高校1校
- 2 事業の必要性 地域が広く、過疎化が進む地域こそ、学校の抱える課題が山積み
(1) 各家庭の孤立化 (4) 地域教育力の低下
(2) 生活状況の複雑化・多様化 (5) 教員の多忙化
(3) 不登校生徒とネグレクト



学校と地域が一体となって子どもを育てる環境づくり
学校と地域が一体となって子どもも大人もみんな楽しく生きがいを
特に 学力 と コミュニケーション能力 を高める

1 事業活動内容（3つの柱）

(1) 地域活動・ボランティア活動

① 創作太鼓

- ・ 今までなかった太鼓集団を結成し、様々な町イベントのアトラクションとして演奏を発表するまでになった。(町民10名、中学生12名で結成)

② ジュニアゲートボール

- ・ 結成2年目で「内閣総理大臣杯第35回全日本世代交流大会」「第23回全国ジュニアゲートボール大会」へ出場した。※ 高齢者と中学生がハイタッチ！

③ 地域協働ボランティア活動

- ・ 各地区代表の方々と小中学生が話し合いを行い、地域に必要なボランティア活動を行った。

【 成果 】 子ども達の体験活動は、学校内で味わえない経験と成就感を得ることができた。さらに、地域の方々と交流しながらの体験活動は大変貴重であり、コミュニケーション能力の向上にかなり役立っている。

(2) 児童生徒への学習支援

① 高校受験対策学習会（講師：教員OB、お坊さん、塾経営者、その他地域の方々）登録講師16名

- ・ 高校受験を向かえる中学3年生を対象として、高校入試対策学習会を秋季に14日間開催した。

② 夏季休業中学習会

- ・ 小学生を対象に午前中1時間の学習会を実施した。学習後、プールに入る。

③ 土曜日学習会

- ・ 夏季休業中にスポ少、部活動で忙しい小中学生を対象に午前中2時間の学習会を実施している。内容は休業中の宿題を中心に、絵画や作文の書き方等についても支援していた。

④ 漢字検定

- ・ 「家族みんなで漢字検定」をキャッチフレーズに事業推進委員会（学習支援部会）主催で実施する予定となっている。開催日：10月と1月に2回予定

【 成果 】 子どもの達がやる気を出してきた。変容してきた。また、地域講師の方々の生きがいになってきている。

(3) 家庭教育支援活動

① 家庭教育相談室「こころのオアシス」を小学校内に設置し、気軽に訪問できる場所を新設する。

② 家庭教育講座やイベントを開催（就学時健診講話、小学校見学ツアー、手打ちうどん教室、家庭教育年間カレンダーの作成等）

③ 訪問型家庭教育支援活動（町内企業を訪問し、子育てや夫婦関係等の相談を受ける）

【 成果 】 県内初の家庭教育相談室は、公的な相談窓口とは違い、気軽に何でも相談できる部屋となっている。お茶のみ話だけでストレス解消されて帰る町民の方もおられます。学校外への訪問も可能な相談員の配置は地域と学校を結ぶ重要な部屋となっている。

平成30年度の目標

- 1 西会津町総がかりによる教育の実現を目指す。
- 2 社会に開かれた教育課程をさらに目指す。

【参考写真】



推進委員会（学習部会）



地域協働ボランティア活動



家庭教育相談室「こころのオアシス」



全国大会出場「ジュニアゲートボールチーム」